

目次

[巻頭言] 都市再開発の理念について……………石井興良……………1	
[昭和43年度官公庁の事業概要]	
IV. 電源開発計画の概要……………飯島 滋……………2	
V. 日本国有鉄道工事の概要……………大橋勝弘……………11	
VI. 水資源開発公団の事業概要……………城野忠雄……………17	
VII. 首都高速道路公団の事業概要……………石川誠之……………24	
VIII. 日本道路公団の事業概要……………平野和男……………28	
[都市工事現場における機械化の考案]	
地下鉄工事における掘削工法開発の施工例……………荒川清……………32	
アースオーガによる地下鉄工事鋼ぐい建込工……………片岡末男……………34	
泥水加圧式機械化シールド……………田中幸太郎……………38	
リバース工法の電動化……………林茂樹……………42	
グラビヤー霞が関超高層ビルの建設工事	
限定圧気形テレスコピック式シールド自動掘進機……………翠川 巖……………45	
都市土木工事における公害対策……………桑原力……………47	
東海道線と総武線を結ぶ東京丸の内地下駅工事……………久保村圭助……………50	
[随想] 秀抜なる卓見を——国土建設に想う——……………上田 稔……………56	
[建設機械の現状] (その6)	
III. 基礎工事用機械	
III-1. くい打機……………高加藤博……………58	
III-2. アースドリル・ベント機・リバースサーキユレーションドリルおよびアースオーガ……………高加藤博……………64	
III-3. 地盤改良機械……………斎藤二郎……………75	
III-4. 地下連続壁工法用機械……………斎藤二郎……………86	
[建設機械化講座] 第62回 現場フォアマンのための土木と施工法	
XIII. 改訂道路土工指針の解説 (その8)	
8. 地スベリ・崩壊およびノリ面保護工……………渡正亮……………100	
[新機種紹介]	
日立UH06油圧ショベル……………安部克郎……………104	
全油圧式掘削機GC120……………平松誠……………106	
[建設機械化研究所抄報]	
試験研究報告 (No. 40)……………建設機械化研究所……………108	
[文献調査]	
バックホウ式のシールド掘削機……………調査部会……………114	
	文献調査委員会
[支部だより]	
I. 建設機械運転免許取得講習会開催……………北海道支部……………115	
II. 建設機械施工技士技術検定講習会開催……………北海道支部……………115	
ニュース……………(編集部)……………117	
会員消息……………119	
行事一覧・編集後記……………(伊丹・前田)……………120	

◇表紙写真説明◇

日立UH06 (0.6 m³) 油圧ショベル

日立建機株式会社
株式会社日立製作所

日立UH06油圧ショベルは、日本最初のバケット容量0.6m³の本格的な重掘削用油圧ショベルである。長期間にわたる研究と厳しい耐久テスト、ファールドテストを経て登場した本機は、掘削量の大きいことで定評があるUH03油圧ショベルの姉妹機で、エンジンは85PSと強力で、能率的な複合操作とあいまって掘削量が抜群に大きく、経済的な掘削機である。また、長時間の連続運転でも疲れのない軽快な操作、すぐれた耐久性、容易な保守等、多くの特長もっているため、ユーザの皆さまに十分な満足いただける機械である。(本誌104頁参照)